



海外稲門会の躍動

Overseas TOMONKAI

会長メッセージ

— ユーイングランドの学園都市にあるボストン稲門会の活動再開のお知らせです。当地稲門会の歴史をひもとくと1996年に会が発足したのですが、最近までは残念ながら休会扱いとなっております。幸いにも皆さまのご支援を得て、昨年橋本副総長の当地ご訪問時に、ボストン大学に留学している早稲田の学生の皆さんと共に活動を再開することができました。これからは、当地に留学してくる学生の皆さんを温かく迎え入れ、一緒に活動していきたいと思っています。今年春には毎年恒例のボストン日本祭りにWaseda USAの協賛を得てブースを出店。桜をモチーフに人のつながりを大切に

するプロジェクトを展開した、早稲田からの交換留学生のブースとともに大盛況でした。すでに早稲田OB能楽師清水先生の能鑑賞や市内での会合も始まりました。ちなみに日本に戻る留学生、研究者の方々も多いので、ボストン稲門会日本支部も設けて、今後も人の輪を広げていければと思っています。
高石英也(会長 1981年法学)



早大OB能楽師・清水さんを囲んで(2015年5月)

会員からのメッセージ

ボストン赴任前に「ボストン稲門会」を調べたら休止中。たまたま出会った矢野晋吾さん(1988年政経)と木村公一朗さん(1999年政経)とで校友会に連絡を取りました。キックオフは2014年12月8日、副総長の橋本周司先生らが海外の大学視察でボストンを訪問されたときのことで。ボストン稲門会レポートの機運が一気に高まり、12月27日の再スタートに至りました。これからの継続フェーズに期待をしております。

森田裕介 (2007年教職員校友 人間科学学術院准教授)

ハーバード大学での研究生生活中にボストン稲門会に出会えたおかげで、より充実した日々を送ることができました。春先のボストン日本祭りの出店では、留学に関心のある市内の多くの学生たちに日本文化を紹介しつつ、早稲田大学の留学プログラムの宣伝をするという貴重な機会に恵まれました。そのほかにも、訪米中の大学関係者や交換留学中の学生との懇親会などで、タイムスリップしたかのように都の西北を懐かしく思い出しながら、楽しい一時を過ごすことができました。今後も日本でこの絆を大切にしていきたいと思っています。

飯塚美理(2009年法学)

早稲田ゆかりの会があることを知らずボストン郊外に5年近く住んでいましたが、ボストン稲門会に在籍していた学部時代の同級生に紹介してもらい、入会することになりました。去る4月にはボストン日本祭りが市内で行われ、稲門会ブースで早稲田への留学に興味を示す現地の方たちとお話をする機会がありました。また懇親会も定期的に行われ、ボストン在住の現役留学生および卒業生の皆さんとテーブルを囲み歓談すると、まるで高田馬場に戻ったような懐かしい気分になりました。今後、ここボストンで早稲田の繋がりが広がるよう助力していきたいと思っています。

斉藤勇樹(副会長 2004年理工、2008年工研修)

私はオペラ翻訳業をしており、1998年よりボストンに在住して今年で17年目となります。第二期ボストン稲門会(2011~13年)の会員の多くが帰国してしまい寂しく思っていたので、2014年に新役員のもとで活動が再開され、うれしい限りです。今年5月には、早大OBの能楽師・清水寛二氏(1976年教育)が主役(シテ)を務める、新作能「長崎の聖母」のボストン公演が行われました。稲門会メンバーも何家族も集まり、終演後の会場ロビーで、校友会の旗を囲みながら「にわか同窓会」となりました。熱い早稲田の血を感じた一夜でした。

三浦真弓(1993年一文)

ボストン稲門会は1996年6月に発足しました。記録によると、ハーバード大学でアメフト早慶戦が開かれることになったため、盛大な応援をしようとしたことがきっかけです。そのあと、活動がしばらく休止していた時期もありましたが、2014年12月に再発足し、会員数も約40名(2015年7月現在)までになりました。会長



2

ボストン稲門会について

メッセージにもありますように、多くの方々のご協力を得ながら、これまでにさまざまなイベントを開催してきました。再発足したボストン稲門会をさらに盛り上げるため、ニューイングランドにいらっしゃる方はもちろん、すでに当地を離れた方もぜひ本会までご連絡ください！ また、フェイスブックもぜひご覧ください！

Eメール: bostontomonkai@gmail.com
ウェブサイト: <https://www.facebook.com/BostonWaseda>

木村公一朗(前幹事長 1999年政経、2001年経研修、2012年経研博)、塩谷雅子(幹事長 2009年政経)



1

1. 留学中の現役学生にも参加していただきました(2015年3月)
2. ボストン日本祭りでの出店(2015年4月)

ニューイングランドの魅力

ボストンはマサチューセッツ州都であり、同州を含むニューイングランド6州のなかで最大の都市です。17世紀の清教徒入植や18世紀の独立運動の発端となった茶会事件など、アメリカで最も古い歴史をもつ都市の一つでもあります。また、ハーバード大学、MITに代表される世界有数の大学や大学の関連医療機関が支える教育・生活水準の高さもこの地域の特徴です。休日の楽しみに目を向けると、Bay State(マサチューセッツ州)や、Green Mountain State(バーモント州)などの愛称の通り、夏はケープコッドでの海水浴、冬はバーモントでスキーなどアウトドアのアクティビティーには事欠きません。インドア派の方には、日本美術の充実したボストン美術館、かの小澤征爾氏が音楽監督を務めたボストン交響楽団の

演奏会がおすすめです。夏に開催されるタンゲルウッド音楽祭まで足を延ばせば、芝生の上で音楽とワインを堪能する至福の時間を過ごすことでしよう。

井手貴大(前副会長 1995年法学)



散策したくなる美しい街並みがあちらこちらに

1. リラックスしたいときはボストン湾クルーズ
2. 休日は海辺の街でのんびり
3. あれもこれも食べたいときは盛り合わせ